

# 高校総体



女子回転 佐藤38位

全国高校スキー大会(読売新聞社共催)は8日、岐阜県高山市と郡上市で、アルペン女子回転と、クロスカントリー(距離)の男女リレーが行われ、閉幕した。

県勢は、女子回転で佐藤万尋選手(不動岡3年)が38位、長谷川朱理選手(本庄東3年)が49位、藤井直視選手(西武文理2年)が63位、加藤未悠選手(西武台1年)が71位だった。

## 女子回転

加藤 未悠 選手 (西武台1年)



競技を終えた瞬間、笑みがこぼれた。結果は71位ながら、やるだけのことにはやったと心から思えた。

アルペンを始めたのは、小学

1年の時。負けず嫌いの性格で練習の虫となり、上達していった。高校を選ぶ際、練習環境の整った「雪国」への進学を考えたこともあった。「強くなりた

## 「レベルの高さにわくわく」

いけど、大好きな競技だからこそ、自分のペースで楽しくやりたい」と、自宅近くの今の学校を選んだ。

今のスキー部でアルペンをやるのは自分1人だけ。放課後の全体練習の後、1人で約1時間の走り込みやウェイトトレーニングをこなしている。新潟県の強豪スキークラブに所属し、金曜日の授業が終わると、新幹線に飛び乗り、スキー場の週末練習へ向かう。

「全国のレベルの高さを経験できて、大会中ずっとわくわくしていた」と振り返る。のびしろを感じさせる新星は、「実力を付けて入賞の常連になる」とはにかみながら語った。

(伊福幸大)